

特別会計

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
交通傷害共済	1,052万5千円	552万7千円	499万8千円
国民健康保険	38億1,396万7千円	37億5,651万6千円	5,745万1千円
老人保健	30億5,602万9千円	30億5,602万9千円	-
汚水処理	2,568万円	2,568万円	-
農業用水	6,266万8千円	5,782万9千円	483万9千円
介護保険	11億1,415万6千円	10億8,986万8千円	2,428万8千円
合計	80億8,302万5千円	79億9,144万9千円	9,157万6千円

特別会計とは、特定の収入を財源として行われるもので、一般会計とは区分して経理する会計です。全体の収支は、9,157万6千円の黒字決算となっています。

市税の負担状況

市税の収納状況

税目別	調定額	収入済額	収納率
個人市民税	10億4,748万6千円	9億9,293万8千円	94.8%
法人市民税	2億5,870万5千円	2億5,556万7千円	98.8%
固定資産税	10億8,581万6千円	10億3,054万2千円	94.9%
市たばこ税	3億327万3千円	3億327万3千円	100.0%
都市計画税	1億6,388万8千円	1億5,529万6千円	94.8%
軽自動車税	4,419万円	4,271万6千円	96.7%
合計	29億335万8千円	27億8,033万2千円	95.8%

平成17年度の市税の調定額は29億335万8千円で、収納額は27億8,033万2千円となっており、収納率は95.8%（全道平均92.3%）で全道35市中1番目の収納率となっています。

市民の皆さんから納めていただく税金は、道路・公園の整備、学校等建設の貴重な財源であり、滞納が増加すると市民生活の低下を招くことにもなりますので、必ず納期内に納めるようご協力をお願いします。

市税の負担額

市民1世帯当たり負担額

- ・調定額 222,941円
- ・収入済額 213,494円

市民1人当たり負担額

- ・調定額 92,614円
- ・収入済額 88,690円

世帯数 13,023世帯
人口 31,349人
(平成18年3月31日現在)

財産の状況

(平成17年度末現在)

土地	13,185,089.83㎡
建物	213,110.59㎡
山林	24,493,897.52㎡(うち基金 22,287,263.52㎡)
立木	170,820.56㎡(うち基金 162,371.42㎡)
有価証券	2億4,432万円
出資による権利	5億175万2千円
債権	7億63万9千円
基金	25億3,068万円(うち債権 8億9,844万2千円)

行政費の使われ方

市民一人当たりの行政費は65万17円となり、目的別にみると公債費23万4,576円、人件費10万6,970円、民生費9万1,823円、土木費5万3,609円、衛生費4万6,022円、総務費4万5,154円、教育費3万5,802円、農林水産業費1万5,595円、その他1万3,384円、商工費7,082円の割合で使われています。

基金の状況

(平成17年度末現在)

名称	目的	現在高
財政調整基金	年度間の財源不均衡を調整するための基金	4,856万円
減債基金	市債償還に必要な財源とする基金(償還時に処分)	2億5,728万7千円
標準線代替輸送確保基金	標準線の代替輸送事業に充てる基金	2億167万5千円
地域福祉基金	在宅福祉の普及、向上の経費に充てる利息運用基金	2億1,358万4千円
人づくりまちづくり基金	人材育成、各団体の活動費に充てるための利息運用基金	1億154万8千円
土地開発基金	公共用地をあらかじめ取得するための基金	9億9,704万2千円
その他の基金	23基金	7億1,098万4千円
合計	29基金	25億3,068万円

基金は、特定目的のための財産を維持し、資金を積み立て又は定額の資金を運用するために設けるもので、法律や条例に基づく地方公共団体の財産のひとつです。